

Ⅱ-決算

57 月次決算業務における為替や金利の取扱いについて、最も適切でないものを1つ選びなさい。

- a) どういった数値を使用するかは個々の担当者の判断に委ねる
- b) 金利は月中平均レートを使用する
- c) 為替は月末日レートを使用する
- d) どういった数値を使用するかを、あらかじめ決めておく必要がある

58 月次決算を実施する目的に関する説明の組み合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- A : 早期に経営の状況を把握して、迅速な対策をとること
B : 年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと
C : 年度決算の利益を早期に予測し、精度の高い決算見込みをたてること
D : 月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと
- a) A及びB
 - b) A及びC
 - c) A、B、C
 - d) A、B、C、Dの全て

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：a

為替や金利は日々変動することから、月次決算上ではどの時点の数値を使用するかを、あらかじめ決めておく必要があり、個々の担当者の判断に委ねてしまうべきではない。選択肢 (b) や (c) は、それぞれ1つの決め方として適切である。

したがって、正解は (a) となる。

8 月次業績管理 8.1 月次決算実施 正解：d

月次決算とは、事業年度末に行う法令による決算とは別に、主として経営管理に必要なかつ有効な情報を提供する目的をもって、毎月の営業成績や財政状態を明らかにするために行われる決算である。月次決算は以下のような目的をもって行われる。

- ・早期に経営の現状を把握して、迅速な対策をとること
- ・年度計画の売上高、営業費、純利益を目標とした進捗管理を行うこと
- ・年度決算の利益を早期に予測し、精度の高い決算見込みをたてること
- ・月々の帳簿の整理を確実に実施することにより、年次決算をより適切に行うこと

したがって、正解は (d) となる。